

総務常任委員会と

野出島地域活性化プロジェクトの

皆様との意見交換会



今年度から、白河市議会では、市民の声を議会に反映させるために、四つの常任委員会（総務・市民産業・教育福祉・建設水道）ごとに、市民の皆様と意見交換会を行うことになりました。

第一回目は、総務委員会と、東地域の「野出島地域活性化プロジェクト」の皆様との意見交換会を六月四日、東多目的研修センターにて開催しました。

意見交換会は、緑川摂生総務常任委員長と本宮直（ただし）野出島地域活性化プロジェクト会長のあいさつから始まりました。

最初に議会側から、議会活動の報告として、白河市議会基本条例、白河市議会議員政治倫理条例及び28年

野出島地域活性化プロジェクト

野出島地域活性化プロジェクトは、東地域・小野田地区（東上野出島・東下野出島）在住の有志により、地域おこしのため結成された団体です。

メンバーは、本職が農業、商業、お寺の住職、縫製業、建設業などバラエティーに富んだ方々が集っています。

新規加入も歓迎しています。



3月定例会の主な内容、市の財政状況を説明しました。質疑応答のあと、地域資源を活用した地域活性化のための活動について、野出島地域活性化プロジェクトの皆様からお話を伺い、意見交換を行いました。まず、本宮会長からプロジェクトの活動内容について、ご説明をいただきました。

主な内容としましては、

●農産物の生産には耕作放棄地を活用。なたね油と野出島うどんは市のブランド認証を受けている。

●耕作放棄地→景観形成作物→花見会→採れた作物で商品開発→ブランド化して販売。といった流れで活動を展開している。

●地域の催し物・見どころ・特産品を紹介した独自の散策マップを作成している。

●メンバー一丸となって活動し、今年で7年目となる。

ことなどをご説明いただきました。



史跡
文化財

四季折々に美しい、野出島の由緒ある文化財・史跡をご紹介します。



自然豊かな

野出島の里散策マップ

野出島地域活性化プロジェクト事務局
TEL: 0248-34-3185
FAX: 0248-34-3299
Email: gttakaku@circus.ocn.ne.jp

催し物のご案内

5月上旬 ◀ ● 菜の花を見る会 (坂口地内)
▲菜の花畑で大正琴コンサート
▲おまじない演舞

6月下旬 ◀ ● ホタルを見る会 (生息地: 白河自然カントリークラブ付近)
▲ホタル観音会 ▲宿郷に飛び交うホタル

9月中旬 ◀ ● そばの花を見る会 (神宮寺及びそば畑)
▲そばの花畑 ▲そばの花

11月中旬 ◀ ● 新そば交流会 (衆多目的研修センター)
▲お餅 ▲会場風景



▲活動内容について説明する本宮会長

▲野出島の里散策マップ



**プロジェクトに
新規加入された2名の
方からご意見・ご感想を
聞かせていただきました。**

梨本さんからは

(4年程前に首都圏から移住)

「農業体験で来ました。移住を検討している頃からこの地域の人は仲良くしていただきました。就職口があったわけではなく、不安はありませんでしたが、人のつながりでバックアップしていただいたので安心して、信頼の気持ちで移住して頂くことができました。」

農作物の育て方をはじめ、ハウスの設置など、色々なバックアップを受けてこれまでやって頂くことができました。

移住前から子供達がいて、そのときは会社勤務で安定した収入がありました。移住してからは、収入は減りましたが、概ね幸せです。

このような生き方がいいと思う人はこれから増えてくると思いますが、移住するには、ある程度の蓄えが必要となるため、実際にはなかなか踏み切れないと思います。

そういう行動に出やすくする環境を整えてあげることが地域活性化には大事だと思います。」とのお話をいただきました。

浅見さんからは

(関東生まれ関東育ち)



浜通りの方でありましたが、原発事故が起きてからはそれどころではなくなりました。

少し山の方に入れば大丈夫かとの話になり、中通りの白河市あたりと考えました。

そこで田舎暮らし体験ツアーがあり、こちらに何回か来て、このあたりがいいと思い自主的に歩き始めたときに、この地ならと突然決めてしまいました。

移住してみたら、本宮会長など田舎暮らし体験ツアーでお世話になった方々、まして移住された梨本さんもいることが分かりました。

縁もゆかりもないところですが、田舎に戻ってきた感じがあり、日々充実しています。

これからもこういう環境をつくっていたいただいたプロジェクトで活動させていただくこと、それが自分の生き甲斐だと思っています。

「田舎暮らしにあこがれ、妻と相談した結果、東北がいいということで行動をおこしました。田舎暮らしに手を貸しますというところが最初に

める環境づくり、行動力も必要だと

思います。「とのお話をいただきました。



▲事業について説明する
緑川委員長

平成28年度当初予算に計上された「小野田小学校児童増加促進対策事業」について、緑川委員長から説明しました。

この事業は、白河市立小野田小学校の学区内において、若年層の定住化を図り、小学校の児童減少による複式学級移行抑止と学校教育及び地域社会の活性化に資することが目的で、市が造成した分譲地に一定期間居住後、その土地を無償譲渡する事業です。

最後に、プロジェクト及び地域における今後の課題について意見交換を行い、主なものとして、次のようなご意見・ご要望が出されました。

・子供たちが使う市スポーツ施設の使用料に関する要望

・地元「狛犬」の市文化財指定に向けた要望

・ゆるきゃらイベント会場への地域からのバス送迎に関する要望

・小野田小学校児童増加促進対策事業の募集期間延長に対する要望

・少子化問題に対する意見・要望

・表郷、東、大信の各地域も関連したイベント、施策等に関する意見・要望

これらの貴重なご意見等に対しては、市当局とも内容を確認し、解決に向けての方策を検討してまいります。次回もよろしくお願ひします。